

**1. 本授業科目の基本情報**

講義名 (コード)	TCR214D	TCR_コミュニケーション I_D		
科目名 (コード)	TCR214	TCR_コミュニケーション I_D		
対象学科	国際コミュニケーション学科		配当学年	2年生
対象コース	CH2		単位数	2単位30
授業担当者	中村 久子		時間数	
成績評価教員	中村 久子		講義期間	春期
実務者教員			履修区分	選択必修
実務者教員特記欄				講義

**2. 本授業科目の概要**

到達目標・目的	国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が就業後の課題遂行能力を高めるために、幅広くかつ抽象的な日本語の話題が理解できるようになる。
全体の内容と概要	N2レベルの文法と聴解を学ぶ。試験形式の演習を行いJLPTのN2に合格する力をつける。また、フォーマルな言い方や書き言葉を学び、状況に応じた日本語を使い分けられるようにする。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	出席が2/3以上の場合のみ成績評価を行う。満たない場合は単位不合格になる。

**3. 本授業科目の評価方法・基準**

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	N2レベルの文字・語彙・文法を確実にし、運用能力を高める。	4/17 自己紹介 授業の進め方 ドリル&ドリルN2聴解 課題理解第1回 TRY! N2文法
2	N2レベルに必要な語彙、文法、慣用表現などに慣れる。	4/24ドリル&ドリルN2聴解 課題理解第2回 TRY! N2文法 課題配布
3		5/1 演習問題
4	場面に適した語彙や表現を正しく習得する。	5/8 ドリル&ドリルN2聴解 課題理解第3回 TRY! N2文法 課題提出
5	N2レベルの文字・語彙・文法を確実にし、運用能力を高める。	5/15 ドリル&ドリルN2聴解 課題理解第4回 TRY! N2文法 課題配布?
6	N2レベルに必要な語彙、文法、慣用表現などに慣れる。	5/22 ドリル&ドリルN2聴解 課題理解第5回 健康診断? TRY! N2文法
7	場面に適した語彙や表現を正しく習得する。	5/29 ドリル&ドリルN2聴解 ポイント理解第1回 TRY! N2文法
8	N2レベルの文字・語彙・文法を確実にし、運用能力を高める。	6/5 ドリル&ドリルN2聴解 ポイント理解第2回 TRY! N2文法
9		6/12 JLPT模試
10		6/19 JLPT模試
11		6/25 JLPT模試 7/7 JLPT
12	N2レベルに必要な語彙、文法、慣用表現などに慣れる。	7/3 ドリル&ドリルN2聴解 ポイント理解第3回 TRY! N2文法
13	N2レベルの文字・語彙・文法を確実にし、運用能力を高める。	7/10 ドリル&ドリルN2聴解 ポイント理解第4回 TRY! N2文法
14	期末試験	7/17 学期試験
15	追試・フィードバック	7/24 Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	ドリル&ドリルN2 聴解 TRY! N2文法
参考文献・資料等	適宜配布 パワードリルなど毎回練習問題
備考	進捗は変更になることがあります。 水曜日2限